

= 普及情報 =

No. 8

平成29年6月15日

東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

| | |
|----|---------------------------------------|
| 標題 | 出雲地域の稲WCS、更なる品質向上に向けて～その1；まずは利用者の声から～ |
|----|---------------------------------------|

(ダイジェスト)

今年度、JAしまね出雲WCS協議会では、これまでの反省を踏まえ、本年産稲WCSの更なる品質向上にむけて、5つの重点項目を掲げ、関係機関一体となって行うこととしています。

まずは利用者の実態を把握することから始め、その結果を栽培技術に活かしていくことにしています。

今年度、JAしまね出雲WCS協議会では、本年産稲WCSの更なる品質向上にむけて関係機関一体となって、次の5点について重点的かつ計画的に取り組むこととしています。

1. 稲WCS利用者に対する要望調査
2. 稲WCS生産者に対する栽培実態調査
3. 中干しの徹底とスクイズテスト※導入
4. 出雲版WCS用稲栽培暦の作成
5. 各種研修会（現地講習会、品質向上研修会等）の開催

※スクイズテストとは・・・
細断した原料草を90秒間力いっぱい握って水分率を予測する手法です。

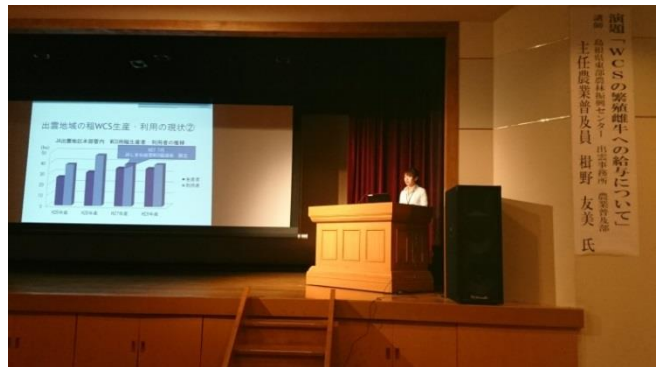
その第一弾として、4月下旬から5月下旬に、稲WCSを利用している乳用牛飼養農場2戸、肉用牛飼養農場4戸に対して聞き取り調査を実施し、実際の給与量や製品に対する印象（特に品質）について多くの意見をいただきました。

また、6月1日のいずも和牛改良組合通常総会後の研修会では、出雲地域での稲WCSの取り組みについて、上述の聞き取り調査の内容も織り交ぜ、当普及部から情報提供をしました。利用者からは、給与だけでなく、栽培に関する質問もあり、稲WCSに対する関心度の高いことが感じられました。

今後は、利用者からの意見をより多く収集するとともに、稲WCSの生産者に対して、早生・晩生品種それぞれの栽培実態調査も併せて行い、また稲WCSの更なる品質向上のために出雲版の栽培暦の作成も計画しており、今まで以上関係機関一体となって取り組むこととしています。



利用者の牛舎の様子



いずも和牛改良組合総会・研修会での情報提供